

平成 25 年第 4 回定例会一般質問

質 問 者	質 問 事 項 及 び 要 旨	質 問 の 相 手
小 辻 隆 治 郎	<p>沖の神島神社の改築と周辺施設の整備について</p> <p>沖の神島神社は、古来より小値賀島に住む人の精神的支柱のシンボルでもある。その神社は長い間放置され朽ち果てる状態にある。神官がいなくなり、住民の生活状況も変化してきたため現地に参拝する機会がなくなったためだ。もし崩落でもしたら取り返しのつかない禍根を残すことになる。今回世界遺産の関係で沖の神島神社と周辺の参道、船着場等が重要文化的景観の構成資産として指定された。文化財となれば補助の対象となりうるのだから、これを機に改築や周辺の整備を計画したらどうか、伺う。</p> <p>* 沖の神島神社の存在意義について、伺う。</p> <p>* もし、質問どおりの計画をするとしたら、どんな問題点が考えられるか、伺う。</p> <p>* ふるさと創生資金の対象になりうるのか、また単独の基金は設置が可能か、伺う。</p>	町 長
	<p>磯焼けの原因について</p> <p>磯焼け対策については、国、県、町ともガンガゼの駆除や食植性魚類からの防止を主眼に事業を施してきた。しかし今回学術研究者に小値賀島から採取した海水を分析してもらったところ、栄養塩の極端な不足が報告された。とりわけ栄養塩の一つであるリンに至っては、痕跡程度との指摘だった。また、溶存鉄も不足している。栄養がなければ、どんな植物も満足な成長はしない。今後の対策について、2点伺う。</p> <p>* 小値賀周辺の海水に栄養が欠乏しているデータがでたが、今一度分析したらどうか、伺う。</p> <p>* もし、仮に栄養塩不足だとしたら、その対策についてどうか、伺う。</p>	町 長

<p>松 屋 治 郎</p>	<p>小値賀の地理的・自然的特性を活かした活性化策について</p> <p>本町は、人口減少や高齢化の進行とともに、基幹産業である農水産業の不振等、依然として厳しい状況にある。</p> <p>町議会としても国等との意見交換や先進地視察等で打開策を模索しているところである。まだまだ地元にあるものを有効に活かしてきていないものが多くあると考えられる。</p> <p>本町の持つ離島であるがゆえの地理的・自然的特性を活かした取り組み事業ができないものか。</p> <p>そこで次の2点について、町長の考えを伺う。</p> <p>① 景観及び史跡の活用による活性化策について ② 美しく変化に富んだ海洋を活かした活性化策について</p>	<p>町 長</p>
<p>近 藤 育 雄</p>	<p>野崎島における施設等の整備について</p> <p>近年、修学旅行客をはじめ、観光やレジャーで野崎島を訪れる人達が確実に増加している。野崎島の現場を一年間を通して見た時、数々の問題がある事を認識させられる。</p> <p>そこで、次の問題点について、どのような考えを持たれているか、町長の見解を伺う。</p> <p>1. 学塾村内広場における芝生の手入れについて 2. 異常に繁茂しているハマゴウの管理伐採について 3. 海岸から道路に吹き上げられた砂の除去について 4. 野崎港のトイレ不足解消について 5. 野崎港における避難場所の確保について</p>	<p>町 長</p>
<p>末 永 一 朗</p>	<p>これからの六次産業化の取り組みについて</p> <p>意欲のある漁業者が魚の加工をする場合、許可申請或いは補助金申請等、諸々について事務的に漁業者にとっては難しいところもあると聞いたが、その点、行政として支援或いは協力してやっていく考えはないか、伺う。</p>	<p>町 長</p>